

～ 駅前エリアの考え方 ～

～ 駅前ガス燈・アーケード等整備事業～

意見と検討

既存のアーケードの劣化が激しい。それにトップライトをすることについては費用対効果を勘案すると、撤去して新設するほうがよいのでは。

アーケード新設の事業費が捻出できない。

事業費によっては、既存のバスシェルターの上屋だけガラスに変えるなども。

バスシェルターは西側を新設し、北側と東側は既存のものを修繕（塗装）する。

～ 本通りエントランス整備事業～

意見と検討

ゲートは南側までつなげる

滝道から本通りへ人を誘導するという主旨から、提示の範囲とする。

もっとシンプルに、形が硬く、他との統一感が必要。

他の施設との統一感と、明治の時代性を考慮したデザインとする。

～ わいわい空間整備事業～

意見と検討

イベント広場的に使いたいという意見と休憩広場的に使いたいという意見に分かれた。

イベント広場的に使いたいという意見をもとに、広々とした場所を確保する。

～ 駅前広場修景事業～

意見と検討

ロータリー内の植栽は芝生の低い植栽としたい。そこにシンボル樹をうえるが、うえる時期は駅前広場事業全体の費用対効果を勘案し、あとからでもよいのでは。また噴水も今、撤去しなくてもよいのでは。

今回の事業で噴水を撤去し植栽をする。

植栽の世話や樹種など、管理を考慮した植栽帯や植栽計画としてほしい。花は管理がかかるから、植えない。

低木やお花などの植栽は極力植えず、（ゴミの投棄、管理手間に配慮）高木が主体となるような植栽計画とする。

イロハモミジを植えましょう。

箕面をイメージさせるイロハモミジを主体とした高木植栽を行う。

カリヨンやサインなど、既存のものはどうするのか。

カリヨンやサインなどは移設を基本に調整する。

横断防止柵もシンプルなもので、（木板はいらぬ）シェルターなどとの統一感できめたい。

新設する施設は、既存のアーケードなどを含めた施設との調和や統一感のあるものとする。